

建設部 平成30年度の重点施策

～第3期ふるさと秋田元気創造プラン 戦略4「秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略」～

県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進

【交流や経済を支える高速道路網の形成】

○県内高速道路の早期全線開通に向け、官民一体となった取組を推進し、あらゆる機会を通じて国に働きかける

・事業中区間の整備促進

日道道「鷹巣大館道路」「ニツ井今泉道路」「遊佐象潟道路」「鷹巣西道路（県施行区間）」等
東北中央道「横堀道路」「真室川雄勝道路」

・暫定2車線区間の4車線化の整備促進及び暫定2車線区間における安全施設の整備

秋田自動車道

北上JCT～大曲IC間（7.2km）の4車線化
県内高速道路の暫定2車線区間にワイヤーロープ式防護柵の整備促進

※県内の高速道路供用率 約90%

（計画延長約362kmのうち、326.2km供用済）

【高速道路を補完し、広域交流を促進する

幹線道路網の形成】

○地域高規格道路の整備に向けた取組を強化

- ・国道46号「盛岡秋田道路」
- ・国道105号「大曲鷹巣道路」（大覚野峠）

○主要都市間を結ぶ幹線道路等の整備推進

- ・国道107号（本荘道路）
- ・西目屋ニツ井線（荷上場バイパス）等

【物流・交流拠点へのアクセス機能の強化】

○港を拠点として、広域後背地域との循環・対流を促進するため、アクセス機能の強化

- ・秋田港と秋田北ICを結ぶアクセス道路の整備推進



地方創生の拠点としての「道の駅」の魅力の向上

○道の駅が地域を支え地方創生の拠点として活用されるよう、基本機能の強化をはじめ、立地環境や地域資源を踏まえた個性の創出を図る

・道の駅の機能強化と個性創出

利用者にわかりやすい案内表示等の基本機能の強化
道の駅の個性を創出する計画策定や人材育成への支援

「道の駅」魅力向上プラン

■本プランは、拠点形成を推進すべく、秋田県内「道の駅」の実態を把握し、今後の方向性を示すとともに、地域連携による活動を促進し、以て「道の駅」の活性化を図るための計画

体制構築

基礎機能の強化
オール・イン・ワン

個性の創出
個性31色パレット

人材育成

※「道の駅」

- ・市町村や道路管理者が設置し、国土交通省により登録される道路施設
- ・基本的な3つの機能を備え、地域の情報発信や交流の場としても活用
- ・制度創設：平成5年
- ・登録数：全国1,145駅
うち秋田県内は33駅
（「おおゆ」「おが」を含む）

国内外のクルーズ船誘致と受入環境の整備

○近年、全国的に高まりを見せているクルーズ需要を秋田に取り込み、観光誘客と地域の活性化を図るため、クルーズ船寄港増加に対応した受入環境の整備と官民一体となったクルーズ振興を推進

- ・広域組織による誘致活動の推進（環日本海クルーズ推進協議会による招聘事業等）
- ・あきたクルーズ振興協議会（H29年3月設立）を活用した方策の実施
（ファミツアー^{※1}、プロモーションDVD作成等）
- ・歓迎、お見送り行事（なまはげ太鼓、小町娘の出迎え、花火打ち上げ等）
- ・港の受入環境整備（大型クルーズ船に対応した係留施設の改良等）

クルーズ船寄港予定

平成30年 22回
うち 外航 8回
内航 14回

※10月には過去最大となる
MSCスプレディタ号
（13万7千トン）が寄港予定

花火打ち上げによる夜の演出



平成30年4月 クルーズターミナルオープン

【※1】観光地や施設などの誘客促進のため、船会社や旅行会社を招待して現地視察をしてもらうツアー